



写真：林 昌宏

Sauve-toi, la vie t'appelle ボリス・シリユルニク講演会・シンポジウム

自分を救え、命があなたを呼んでいる

《戦争中は、命を守るために口に出せないことがある。戦争が終わっても、他人に理解してもらえそうなことしか語れない。傷ついた者を黙らせたのは戦後の文化だったのに、おかしなことに、「心が傷ついた者は何も語らなかった」と非難したのも戦後文化だった》
— 戦中から戦後へ、過去をよびさましながら生きてこられたシリユルニクさんとともに戦後70年を考える。

[日時]

2015年11月2日 (月) 15:00-17:30

ボリス・シリユルニク講演会「自分を救え、命があなたを呼んでいる」

Sauve-toi, la vie t'appelle

2015年11月3日 (火・祝)

10:00-12:00 「ボリス・シリユルニク講演会」記録上映

13:00-15:00 シンポジウムⅠ「壊れやすさからレジリエンスへ」

De la vulnérabilité à la résilience

15:30-17:30 シンポジウムⅡ「東アジアの70年、トラウマを越えて」

*Soixante-dix ans en Asie de l'Est,
par-delà les expériences traumatiques*

[場所] 立命館大学 衣笠キャンパス 創思館カンファレンスルーム

[主催] 立命館大学ボリス・シリユルニク招聘プロジェクト

[共催] 立命館大学生存学研究センター、立命館大学国際平和ミュージアム

入場無料 (定員80名・申し込み不要)

※座席や同時通訳機器には限りがございますので、あらかじめご了承ください。

お問い合わせ

立命館大学生存学研究センター事務局
TEL: 075-465-8475 FAX: 075-465-8245
E-mail: ars-vive@st.ritsumeikan.ac.jp

ボリス・シリユルニク氏 プロフィール

1937年フランスボルドー生まれ。5歳のときに、ユダヤ人一斉検挙により両親を失う。本人も6歳のときにフランスの警察に逮捕されるが、強制収容所に移送される寸前のところで逃走する。戦後、経済的に恵まれない環境にもかかわらず、猛勉強の末、パリ大学医学部に進学し、精神科医になる。臨床の傍ら、強制収容所から生還した者たちや、途上国の恵まれない子どもたちの支援活動も行う。

自分を救え、命があなたを呼んでいる

Sauve-toi, la vie t'appelle

トラウマ的な過去を背負わされた者は、たえず語るべきか、語らざるべきかで思い悩む。共同体全体のトラウマなら、語り合うことで結末が固まるということがあるが、個人のトラウマは集団の結末を弱めてしまうおそれがあり、なかなか周囲から聴きとどけられない。そんな戦後の時間を、それでも過去に言葉を与えることで生き延びてこられたシリユルニクさんの言葉は、重たいだけでなく、読者の心を軽くするふしぎな力を持っている。

日本、そして東アジアでも、トラウマ的な過去を克服するために精神力を酷使しなければならなかった数々の人々が存在した。そういった方々の心に寄り添おうとする者も次々に現われた。

そして、トラウマを背負う者と、寄り添おうとする者が最後にすがりうるのは、人間の心の前向きさではないだろうか。3.11以降の日本で「レジリエンス」という言葉に注目が集まっているのも、そういった祈りのような思いが社会のなかに充満しているからだろう。

(西成彦)

プログラム

11月2日(月)

■15:00-17:30 ボリス・シリユルニク講演会「自分を救え、命があなたを呼んでいる」

司会：ポール・デュムシエル(先端総合学術研究科) *Sauve-toi, la vie t'appelle*

11月3日(火・祝)

■10:00-12:00 「ボリス・シリユルニク講演会」記録上映

■13:00-15:00 シンポジウムⅠ「壊れやすさからレジリエンスへ」*De la vulnérabilité à la résilience*

司会、発題：やまだようこ(衣笠総合研究機構)

パネリスト：松嶋秀明(滋賀県立大学)／北村健太郎(生存学研究センター客員研究員)／青木秀光(先端総合学術研究科・院生)
山口真紀(先端総合学術研究科・院生)／小西真理子(日本学術振興会特別研究員)

コメント：ボリス・シリユルニク

■15:30-17:30 シンポジウムⅡ「東アジアの70年、トラウマを越えて」*Soixante-dix ans en Asie de l'Est, par-delà les expériences traumatiques*

司会、発題：西成彦(先端総合学術研究科)

パネリスト：ポール・デュムシエル(先端総合学術研究科)／村本邦子(応用人間科学研究科)／高誠暁(生存学研究センター専門研究員)
林徳榮(大阪市立大学都市研究プラザ・特別研究員)

コメント：ボリス・シリユルニク

ボリス・シリユルニク氏の著書

フランスを代表する作家としても知られ、著書を通じて「レジリエンス(打たれ強さ)」を説くシリユルニク氏。中でも『憎むのでもなく、許すのでもなく』は、ナチスから逃れ長い戦後を生き延びた壮絶な過去を綴った一冊として、フランスでは二十五万部を超えるベストセラーとなり、世界十カ国以上で翻訳刊行されている。



『妖精のささやき
—子どもの心と「打たれ強さ」—
(塚原史・後藤美和子、彩流社)



『憎むのでもなく、許すのでもなく
—ユダヤ人—斉検挙の夜—
(林昌宏訳、吉田書店)



『心のレジリエンス
—物語としての告白—
(林昌宏訳、吉田書店)



※駐車スペースがございませんので、ご来場の際には公共機関をご利用ください。

- JR・近鉄 京都駅より……市バス50にて「立命館大学前」下車
- JR・近鉄 京都駅より……市バス205にて「衣笠校前」下車、徒歩10分
- JR・近鉄 京都駅より……JRバス高雄・京北線にて「立命館大学前」下車
- 阪急 西院駅より……市バス205にて「衣笠校前」下車、徒歩10分
- 阪急 西院駅より……京福電鉄嵐山本線・北野線にて「龍安寺駅」下車、徒歩6分
- 阪急 西院駅より……京福電鉄嵐山本線・北野線にて「等持院駅」下車、徒歩6分
- 阪急 大宮駅より……市バス55にて「立命館大学前」下車
- 京阪 三条駅より……市バス15・59にて「立命館大学前」下車
- JR・地下鉄 二条駅より……市バス15・55にて「立命館大学前」下車
- JR 円町駅より……市バス15にて「立命館大学前」下車
- JR 円町駅より……市バス204・205にて「衣笠校前」下車、徒歩10分